

「男女共同参画のまち山形」をめざして

市民アンケートから見える山形市の男女共同参画

男女共同参画に関する市民の意識及び実態調査より

山形市では、平成23年3月に第2次「いきいき山形男女共同参画プラン」を策定し、これまで様々な取り組みを進めてきました。

男女共同参画に関する意識や実態を総合的に把握するため、平成26年8月に市民と事業所のみなさまを対象にアンケート調査を実施しました。今号は特集してその調査結果の一部をご紹介します。

(※比較しているグラフは、前回調査平成21年に実施したものです。また、国の調査は平成24年内閣府世論調査のものです。)

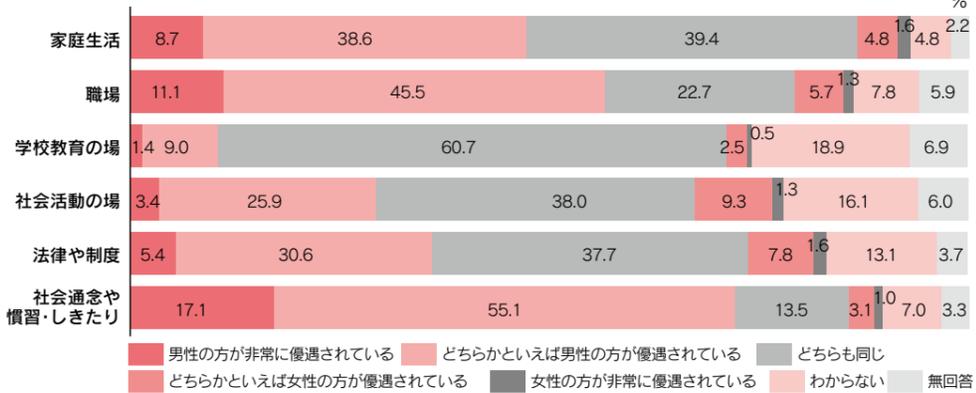


平成26年度 男女共同参画に関する作品 写真の部 入選作品より

1 男女共同参画の状況について

分野別に「男女の立場は平等か」たずねたところ、「学校の場」では約6割と高く、男女平等が浸透してきています。しかし、「社会通念や慣習・しきたり」と「職場」ではまだ男性優遇と感じている割合が高くなっています。

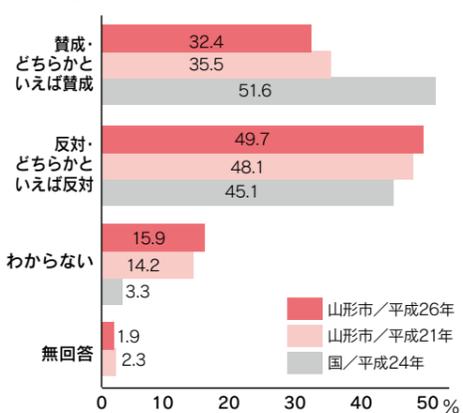
図1 男女平等の意識



2 家庭生活の男女共同参画について

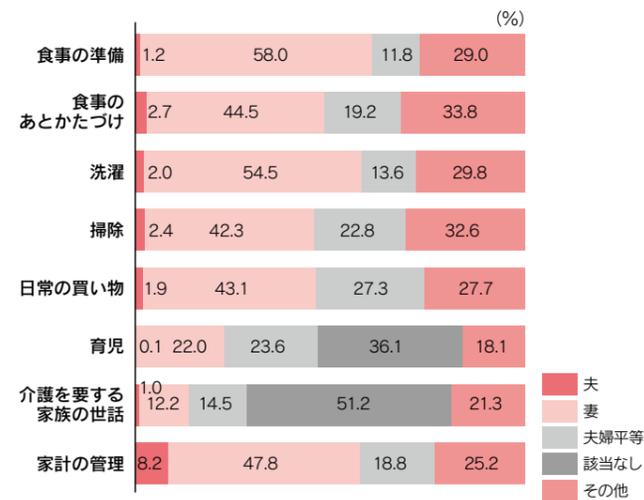
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、反対が少し増加しました。また、国との比較では、山形市は賛成が低くなっています。

図2 夫は外で働き、妻は家を守るべきである



「家庭での家事等について、主に誰が担当しているか」をたずねたところ、多くの項目で「妻」が担当の割合が高くなっています。

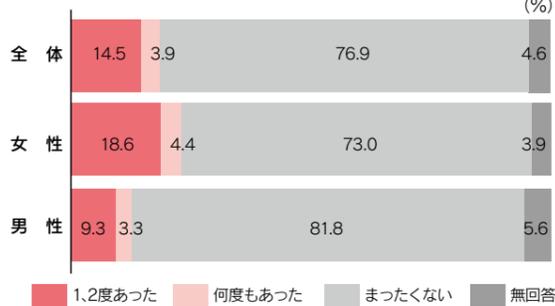
図3 家庭内の家事等の分担



4 人権について

女性の約2割が、男性では約1割が配偶者からの身体的暴力の被害経験があるという結果でした。

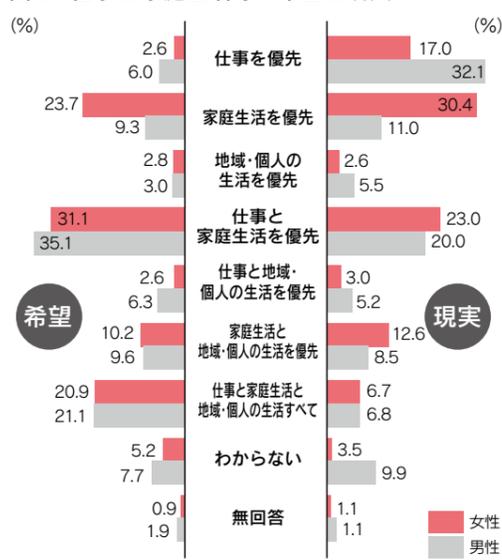
図5 配偶者からの身体的暴力の被害経験



3 仕事と家庭生活等のかかわり方について

希望では、「仕事と家庭生活を優先したい」が男女ともに第1位で3割を超えています。現実では、女性は「家庭生活を優先」が、男性は「仕事を優先」がそれぞれ約3割で最も多くなっています。

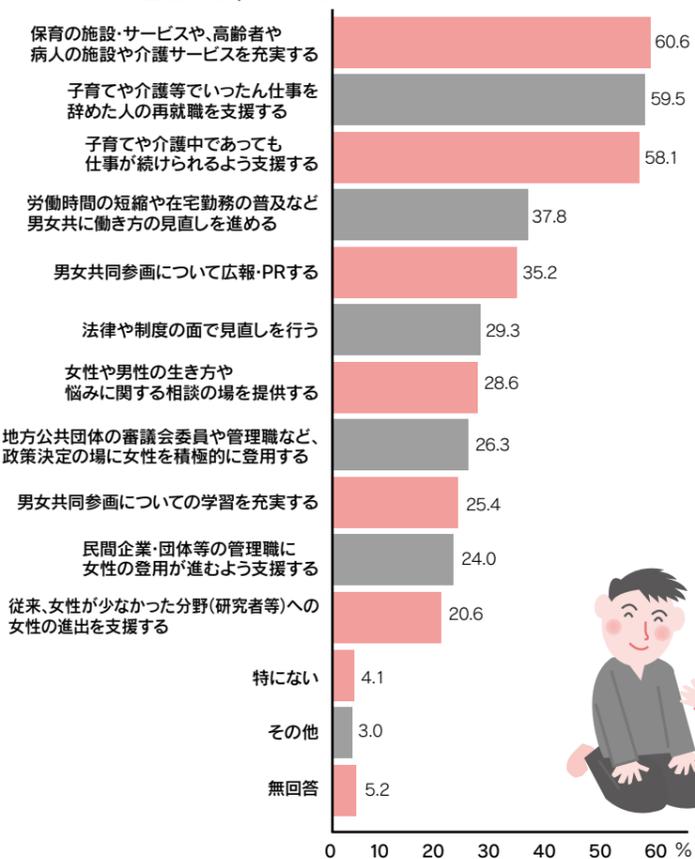
図4 仕事と家庭生活等の希望と現実



5 行政に望むこと

「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」が6割を超えています。

図6 行政に望むこと(複数回答)



ご要望やご意見(抜粋)

- 男性・女性に関わらず、能力で評価される事が大切。女性を男性と平等にすることと同じように、男性を女性と平等にする事も大切だと思う。そうすることでバランスがとれて平等な社会になっていくのでは。(30歳代・男性)
- 女性が子育てしながら働くにはまだまだ大きな壁がたくさんあると思います。そのためには、保育施設や中小企業への支援金や周知、指導などを行う事が大切です。男性側も残業を少なくし、家庭に協力できる環境が整ってくると、もっと女性も社会進出が出来るのではないのでしょうか。行政や企業が努力して女性が働きやすい社会になることを願います。(40歳代・女性)
- 私は年代差を非常に感じます。(60歳代・女性)
- 広報、PRが少なすぎです。(70歳以上・男性)
- いずれの時代でも、女性が経済的に独立してしっかりとした人格を持つこと。何よりも経済的に独立しないため、女性も大きな視野で物事を考え行動する。自分の仕事に自信があれば、どんな時でもどんな問題も解決していける。男も女も一人の間であるという教育を生まれる時からすること。(70歳以上・女性)

調査にご協力頂きありがとうございました。貴重なご意見・調査結果を今後の男女共同参画施策に活かしていきます。

調査の概要

- 調査対象：市内在住の20歳以上の男女2,000人を無作為抽出
- 調査方法：郵送配布及び郵送回収
- 調査期間：平成26年8月1日～8月18日
- 有効回収数：830人
- 有効回収率：41.5% (男性44.0%、女性55.4%、無回答0.6%)

意識調査の全文はホームページでご覧いただけます。
(<http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>)